

令和4年度 江戸川区立小岩第五中学校 学校関係者評価 最終評価用報告書

学校教育目標		目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像		・どの子も育つ親したい。どの子も育つ指導者したい。どの子も育つ自分したい。 ・学校に誇りを持ち、食知徳体の向上に努力する生徒。 ・使命感と情熱をもって、職務を遂行する教師。				
前年度までの学校経営上の成果と課題		＜成果＞東京都情報教育研究校(2年目)として、「情報活用能力・情報モラル教育・プログラミング教育」を引き続き推進することができた。また、iPad全員配布に伴い、校内研修の研究主題を「iPadを活用した授業の工夫」とし、授業の工夫・改善に取り組み、基礎学力の向上を図ることができた。 ＜課題＞素直で真面目な生徒が多いが、自ら考え行動したり、主体的に学習や運動に取り組んだりすることができない生徒、スマホの利用時間が長い生徒も多くなる。そこで、校内研究の研究主題を「豊かな心と健やかな体の育成～岩五リズム(生活・学習・運動)の主体的な学びを通して～」とし、生活リズムを基盤とした学力と体力の向上を目指す。						
教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価		学校関係者評価	来年度に向けた改善策
					取組	成果	評価	コメント
いきいきと学ぶ学校づくり	確かな学力の向上	・7つの主な事業(取組)に対しての学校の組織的な対応による取組の実施・充実	学力向上週間の実施 build-up timeの実施 放課後補習・長期休業中補習の充実 一人一台端末の活用の工夫 長期休業明け確認テストの実施	5教科都平均以上	A	B	B	本校の生徒は授業に真面目に取り組んでいる。さらなる学力の向上を期待する。
	体力の向上	・「運動意欲の向上」に向けた取組の実施・改善	授業内での補助運動の実施 短縄検定の実施 岩五サーキットコースの活用 レクリエーションや体力づくりを目指した部活動の設置	体力テスト都平均以上	B	B	B	運動会を参観したが、本校の生徒は運動に意欲的に取り組んでいる。体力向上の取組を強化してほしい。
	読書科の更なる充実	・読書を通じた探究的な学習の実施・充実	読書ノートの活用 昼休みの開室(年140日) 学校図書館を活用した授業の充実 学校司書と連携した環境整備	年間貸出平均3冊以上 昼休み開室100% 学校図書館を活用した授業各教科年2回	A	B	A	図書室や職員室前廊下の図書コーナーのトビックスやテーマごとの展示がよい。
	校内研究の充実	「岩五リズム(生活・学習・運動)」の構築	生活リズム・・・食育、睡眠時間・スマホ利用時間 学習リズム・・・授業、放課後補習、家庭学習 運動リズム・・・運動週間・運動タイムの設定	スマホ利用時間1日2時間以内	B	C	A	教職員が研究に意欲的に取り組んでいる。
	共生社会の実現に向けた教育の推進	・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の充実 ・エンカレッジルームの活用促進 ・副籍交流、交流及び共同学習の充実	個別支援指導計画の作成 エンカレッジルームの多様な活用(特支専門員との連携) 通常級と特別支援学級との共同学習、行事における交流 近隣特別支援学校との副籍交流	通常級と特別支援学級との共同学習5教科以上、すべての行事における交流 近隣特別支援学校との副籍交流毎月(学年だより) 校内特別支援委員会月2回	A	B	B	本校の特別支援教育はとても充実している。個々への対応をさらに丁寧に行ってほしい。小学校とも連携して進めてほしい。保護者との話し合いの場を何度も設けて、個々を伸ばす教育をしてほしい。
特別支援教育の推進	子供たちの健全育成の推進	・子供たちの健全育成に向けた取組の強化	学校生活アンケート(年3回) 教育相談(年3回) SCとの連携 SBSノートの活用	いじめ発生ゼロ 不登校発生率5%以下	A	B	A	教育相談に力を入れており、いじめの未然防止に努めている。 文化祭、65周年式典等を参観したが、通常級と特別支援学級の交流と学校全体の雰囲気の良いを感じることができた。
学校と家庭、地域、関係機関との連携強化	学校関係者評価の充実	教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施・改善	評価項目の見直し 否定的回答が多い項目に対する改善案の策定	すべての項目において肯定的回答80%以上	B	B	B	ホームページで学校の様子がよくわかる。本校の良さを小学校の保護者に伝えてほしい。
	関係諸機関との連携強化	生徒の健全育成をねらった関係諸機関との連携	児童相談所との連携の強化 スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、特別支援教室専門員、特別支援教室巡回教員への相談	児相への連絡生徒1人に対して月1回	A	A	A	関係諸機関と連携して、生徒の健全育成に努めている。
特色ある教育の展開	「学校における働き方改革プラン」	「学校における働き方改革プラン」に基づく取組の実施	会議の精選 一人一役の徹底による組織の活性化	時間外勤務時間月60時間以内 職員会月1回	A	A	A	仕事量が増えた教員の仕事を、仕事量が減った教員がフォローする等、チームで仕事を進めていく。
	食育の推進	・学校給食を「生きた教材」として活用した知育・徳育・体育の基盤となる食育の推進	食育講演会の実施 食育テーマによる献立	食育講話1回 テーマ献立30回	A	A	A	生徒対象の食育講話と、教職員対象の校内研修における講師による講話を実施する。
	キャリア教育の充実	・自己の徳性や適性に合った進路を選択することができる生徒の育成	キャリアパスポートの充実 進路指導の充実 高校相談会の実施	進路指導の日1回 進路説明会年2回	A	A	A	キャリア教育の取組を保護者に積極的に伝えていく。